

登録番号205

中部薬品株式会社

代表取締役 山口 眞里
多治見市高根町4-29
平成29年4月 雇用人数2人(恵那特別支援学校卒業)

障がい者を雇用した理由は

パローグループ全体で、「企業の社会的使命」という位置付けで障がい者雇用を実施しており、その一環として、当社では特別支援学校との連携を図っています。特別支援学校を通じて、これまでも高等部2年生・3年生の実習を多く受け入れており、曾我さん、木村さんともに3年生時の実習を経て採用しました。

仕事内容、働きぶりは

主な仕事内容は、納入された商品の売り場陳列、在庫の商品補充、賞味期限のチェック、清掃、売り場や倉庫の整頓等です。店長やスタッフからは「本当によく頑張ってくれています」と評判も上々です。特に賞味期限のチェック等をコツコツと着実に進めてもらえるので助かっています。

障がい者を雇用するにあたり工夫していること、配慮していることは

受け入れ店舗の選定に当たっては、できる限り人員体制が整っており、しっかりしたパートさんがいる店舗を選定することでフォローができるように配慮しています。また、障がい者雇用については全社での取組と位置付け、人員配置等に配慮して受け入れ店舗のみの負担とならないようにしています。これにより、一人ひとりの障がいに応じた業務の組み立てと、社員・パートさんの業務負担軽減の両立ができるように工夫しています。

障がい者を雇用してよかったことは

店舗全体でフォローを行うように心掛けることで従業員同士の連帯感ができたと思います。また、二人の人間性によるものではありますが、馴染みのお客様とのコミュニケーション



を通じて「お店のファンづくり」にも貢献してもらっています。また、ドラッグストアの品ぞろえが増え、店舗の作業量が多くなってきているのに反比例し、東濃地方は人材が確保しづらい状況があるので、二人には貴重な戦力となってもらっています。

◎卒業生のコメント

【曾我 和矢さん(恵那特別支援学校卒業)】
社員さんやパートさんが良い人でわからないことは教えてもらえるので、自信をもって働くことができます。早起きや立ち仕事は大変ですが、慣れてきました。商品の消費期限チェックは、見逃しがないように気を付けています。

【木村 玲奈さん(恵那特別支援学校卒業)】
お客様やそのお子様に顔を覚えて頂いて言葉を掛けてもらえるのがうれしいです。いろいろな仕事がありますが、一つずつの仕事を実実にできるように気を付けています。思っていたよりも重い荷物があって大変な時もありますが、働くのがとても楽しいです。

登録番号500

濃飛西濃運輸株式会社

代表取締役社長 横地 悟
関市池田町1番地
平成29年4月 雇用人数1人(各務原養護学校卒業)

障がい者を雇用した理由は

働きやすい環境づくりを構築する取組の一環として、特別支援学校からの職場実習を受け入れました。実習の中で、会社にとって十分な戦力となると判断できたことと、同じ職場で働く従業員の理解と協力も得られることが確認できたため採用しました。

仕事内容、働きぶりは

現在は水栓メーカーの出荷業務で、商品のピッキング作業を担当してもらっています。細かい出荷指示にも対応し、他の従業員ともコミュニケーションをとりながら作業をこなすことができます。今後は、ピッキング作業後の検品作業や梱包作業等、新しい作業も覚えることで業務の幅を広げて活躍してくれると期待しています。

障がい者を雇用するにあたり工夫していること、配慮していることは

障がいがあるということで、特別な配慮はしていませんが、同じ職場で働く従業員の中で、障がいについての理解を共有しています。コミュニケーションをとることでわからないことがないか、困っていることはないか等、他の従業員が気付いてフォローできるように心掛けています。また、安全を第一に作業してもらえよう業務指導を行っています。



障がい者を雇用してよかったことは

同じ職場の従業員同士のコミュニケーションがより活発になったと思います。また、安全対策や業務にエラーが起こらないよう従業員同士で工夫するようになりました。

◎卒業生のコメント

【久田 花さん(各務原養護学校卒業)】
職場の人たちは良い人ばかりで、休憩時間にみんないろいろな話をするのが楽しみです。仕事も毎日楽しくできていてうれしいです。できる仕事を増やしていけるように、今の仕事をしっかりミスなくできるように集中して頑張っています。

登録番号599

佐橋工業株式会社 金山工場

代表取締役社長 近藤 泰治
下呂市金山町金山2969
平成29年4月 雇用人数1人(下呂特別支援学校卒業)

障がい者を雇用した理由は

弊社では社会貢献の一環として、これまでも障がい者の雇用を行っており、初めての雇用は30年以上前になります。今回は、地域の特別支援学校から実習を受け入れるなかで、本人の働きぶり、ここで働きたいという意欲から雇用することになりました。

仕事内容、働きぶりは

弊社は防振ゴムの製造を行っております。宅見さんは、製品の基となる素材の接着処理作業を他の社員と一緒にしています。勤務態度が良く真面目な仕事ぶりで、繰り返し確認することで作業内容をしっかり理解して働くことができます。接着処理作業は4、5名を1チームとして編成されており、大切な戦力の一人として他のメンバーと協力しながら頑張ってくれています。作業の最終工程となる品質確認作業等、新しい作業も少しずつ覚えてもらっています。

障がい者を雇用するにあたり工夫していること、配慮していることは

作業の工程を分け、実習で適性を見極めることで最も力が発揮できる場所に配置するようにしています。現場では、監督者の他に作業について直接のサポートをする担当を配置しています。また、様々な場面でより多くのコミュニケーションがとれる機会を作ることが大切であると考えており、現場での担当とは別に他の部署の社員もサポートの担当とすることで、生活全般についても相談しやすい環境を整えています。



障がい者を雇用してよかったことは

障がいのある方と一緒に働くことで、他の社員が障がいについて関心をもつことができるようになり、理解が進みました。また、他の部署の社員をサポート担当として配置する体制は、障がいのない社員にとっても社員同士のコミュニケーションをより活発にし、働きやすい職場環境を整えるのに有効であるため、一般の新卒採用者に対しても実施するようになりました。

◎卒業生のコメント

【宅見 清森さん(下呂特別支援学校卒業)】

車が好きなので、地元で車に関わる仕事ができ、自分が作った製品が車の部品として使われると考えるとやる気になります。わからないことは先輩から丁寧に教えてもらえます。できることが増えていくことがうれしいです。自分の作業にミスがあると他にも迷惑がかかってしまうのでミスがないように気を付けています。

登録番号607

社会福祉法人北農(特別養護老人ホームパサーダ)

理事長 杉野 典嗣
大垣市北方町2丁目70番1
平成29年4月 雇用人数1人(大垣特別支援学校卒業)

障がい者を雇用した理由は

当法人は、社会福祉法人としての使命である「地域に貢献できる」取組の一つとして、障がい者の雇用を進めております。障がいのある方も施設の中で生きがいをもって働けるような環境を作りたいと考えており、特別支援学校からの実習の受け入れや、卒業生の採用をしています。

仕事内容、働きぶりは

大橋さんは、現在主に施設内の清掃や衣服の洗濯、シーツ交換等を行っています。勤務態度は真面目で責任感があり、自分の仕事にこつこつ一生懸命取り組んでいます。また、毎日の決められた仕事以外でも、他の職員から仕事の内容を聞いて対応することができるため大変助かっています。

障がい者を雇用するにあたり工夫していること、配慮していることは

ここ数年で、3名の特別支援学校の卒業生を職員として採用しています。個々の能力を見極めながら、将来的には介護士としての仕事ができるように指導するとともに、介護福祉士の資格を取得できるよう応援していきたいです。



障がい者を雇用してよかったことは

他の職員にとっては、一緒に働く中で障がいのある方に対する理解ができたと思います。また、彼女たちが楽しく笑顔で仕事をしている様子を見るとうれしく思います。

◎卒業生のコメント

【大橋 沙菜さん(大垣特別支援学校卒業)】

私は今、掃除や利用者様の衣類の洗濯、ベッドのシーツ交換等を主に担当して頑張っています。掃除中に利用者様がお話しをなさる時、「いつもありがとうね」「偉いね」と言葉を掛けてもらえることがあります。うれしくてとてもやりがいを感じます。